※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	情報ビジネス	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ｉで学んだ内容を基礎として、さらに実践的に問題解決に臨むことのできる知識と技能を身につけましょう。
私たちを取り巻く環境や社会情勢を背景とした、身近な問題の解決に本科目の学びを生かせるように、多くの作品制作に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

知識及び技能：
データを活用することで、必要な情報に整理できることを理解する。情報デザインの科学的な根拠を理解する。プログラムに関する用語や意味を理解し、コーディングができる。

思考・判断・表現：
データを活用し、必要な情報に整理できる。科学的な理解に基づいた作品を作成できる。オリジナルのコーディングができる。

学びに向かう力、人間性等：
学習活動に積極的に参加し、作品の完成に向けて、タスク管理ができる。他者の作品に対して、適切な評価・意見ができる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	データ活用に関する用語や理論が理解できているか・使用できるか デザインに関する用語や技法が理解できているか・使用できるか プログラムに関する用語や技法が理解できているか・コーディングできるか コンピュータを正確に迅速に操作ができるか	適切な問題設定ができるか・設定した問題に対し、データを有効に活用できるか・グラフ等から情報を読み取れるか 科学的な理解に基づいた作品を作成できるか オリジナルのコーディングができるか 課題の到達点を理解し、データや資料等を関連付けながら作品を作成できるか。	学習活動に、積極的に参加しているか 作品の完成に向けて、期日から逆算して作業に取り組めるか 他者の意見や作品に対して、適切に評価できるか 集団での学習活動において、自らの役割を理解し、集団の目標達成に向けて努力できるか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	データ	データの読み取り データの表現 データの整理	a: 用語や理論が理解できているか b:グラフ等から情報を読み取れるか c: 学習活動に、積極的に参加しているか。	考査 課題	考査 課題	課題 発問 GW
	データの活用	質的データと量的データ 複数データの関連 問題解決に向けたデータの活用	a: 用語や理論が理解できているか b: 適切な問題設定ができるか データを有効に活用できるか c: 学習活動に、積極的に参加しているか。他者の意見や作品に対して、適切に評価できるか	考査 課題	考査 課題	課題 発問 GW

※令和４年度以降入学生用

二学期	プログラム	VBA を用いた作品作成	a:コーディングができるか b:オリジナルのコーディングができるか c: 学習活動に、積極的に参加しているか。作品の完成に向けて、期日から逆算して作業に取り組めるか	課題	課題	課題 発問
	デザイン	色彩 ベクタグラフィック ラスタグラフィック 配置・表現	a: 用語や理論が理解できているか・使用できるか b:自らの作品について、色彩や配置の理由を科学的な理解に基づいて説明できるか c: 学習活動に、積極的に参加しているか。他者の意見や作品に対して、適切に評価できるか	考査 課題	考査 課題	課題 発問 GW
三学期	コンピュータ操作	入力 編集 データ活用 プレゼンテーション	a: コンピュータを正確に迅速に操作ができるか b: データや資料等を関連付けながら作品を作成できるか c: 学習活動に、積極的に参加しているか。他者の意見や作品に対して、適切に評価できるか	課題	課題	課題 発問 GW

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度